

# 37回生学年通信【第8号】

2020.4.24

## 学年主任より

1年生のときに受験した模擬試験の結果から、37回生の取り組みを振り返ります。結論から言うと「非常に良い」結果であり、みなさんの取り組みの成果が表れたように思います。以下に、その結果を示します。

### 【過年度比較（1月模試）】

		37回生		36回生		35回生	
過去3年間で一番良い結果！	コース・科目	国数英総合					
	受験人数	317		316		309	
	平均点	106.8		100		88.1	
	平均点偏差値	49.2		48.2		47.4	
	偏差値（人数）	単純	累積	単純	累積	単純	累積
	66～	1	1	1	1	0	0
	64～	0	1	1	2	2	2
学年全体の4割以上の生徒が偏差値50以上！ 国公立大が十分に視野に入ってきます！	62～	1	2	4	6	0	2
	60～	6	8	4	10	2	4
	58～	9	17	7	17	3	7
	56～	11	28	14	31	6	13
	54～	19	47	14	45	16	29
	52～	30	77	25	70	25	54
	50～	51	128	40	110	35	89
ボリュームゾーン（人数が一番多い偏差値帯）が「48～」。50には届かなかった生徒も健闘している！	48～	65	193	41	151	43	132
	46～	48	241	44	195	45	177
	44～	34	275	51	246	57	234
	42～	22	297	42	288	34	268
	40～	9	306	14	302	25	293
	～40	11	317	14	316	16	309

### 【過回比較】

	1月	11月	7月	1月	11月	7月	1月	11月	7月	1月	11月	7月
コース・科目	国数英総合			国語			数学			英語		
平均点偏差値	49.2	48.6	48.7	48.7	48.2	47.5	50.6	49.3	50.5	48.4	48.7	48.3

どの教科も7月模試の結果と比較してUP！特定の科目ができるというより、どの科目も安定した結果が残せている。

その中でも「国語」の伸びが顕著。国語が強い学年はまだまだ伸びる傾向あり！

模擬試験では、普段の定期考査や課題実力考査ではわからない全国レベルでの実力を把握することができます。その中で、このような成績を取められたことは、1年次のみなさんの取り組みは良好であったことを表しています。授業の取り組み、課題の取り組み、小テストの取り組みなどの教科も力を抜くことなく努力したことがこのような結果につながったと思います。生徒のみなさんにとっては確かに苦しいこともあると思いますが、確実に成長につながっています。自分を信じて努力を続けよう！

## 地歴公民科より

### 世界史 A・B

第2学年の文系世界史Aと、世界史Bを担当する菊地です。世界史の学習では、これまでなじみのなかった国名・人名が出てきますので、新鮮だと思ふ人、取りつきにくいと思ふ人などさまざまだと思います。休校中の課題として、教科書を読みつつ副教材をすすめていくことをお知らせしたので、取り組んでみて下さい。

来年からセンター試験の在り方が変わることをご存じの人も多いと思いますが、「歴史は暗記(だけの)科目ではない」という点が強調される可能性があると言われてしています。歴史の基本的な事項を理解して覚えることはこれまで通りですが、それに加えて「その出来事や概念を説明せよ」、「その出来事はどういう背景をもっていて、なぜ起こったのか」、という問いに答える必要が出てくるかも知れません。授業が始まったら、そのような問いを、一緒に考えていきましょう。

学習のステップとしては、

- (1) 理解 = 内容を理解します。特に世界史Bでは用語集も使いますので、疑問があったらすぐ調べてしましましょう。
- (2) 記憶 = ここでは反復練習が何よりです。学習法などの本では、「大きな声で二十回音読すると覚える」と書いたものもあります。自分の方法を見つけてみましょう。
- (3) 思考 = 理解して覚えた知識を使って、応用問題に取り組んだり、独自の問いに答えたりしてみましょう。文章を書くと、自分の考えを整理できます。

一緒に世界史を学ぶことを楽しみに待っています。よろしく。

### 《日本史 B の勉強法》

・高校で初めての科目で不安な人もいるでしょう。今回は日本史Bの力のつく学習法を記します。

- ①. 全ての基本は教科書にあり、隅から隅まで精読することが重要です。
- ②. 授業プリントを完成させる。教科書を補うものとして、4月20日(月)登校日に配布した授業プリントがあります。実は教科書を見て作成したプリントで、教科書の内容を簡潔にまとめたものになっています。教科書、図説の該当部分を見て空欄を完成させると、なんとなく内容が理解できるはずです。
- ③. 副教材の Check list を解いてみる。得た知識をアウトプットできるので知識が定着します。授業が始まったら小テストをします。  
以上①～③の順番で歴史順に学習を進めていきます。自宅学習期間中にぜひ試してみてください。